

定例記者会見（10月）次第

令和元年10月7日（月）

午後1時30分～

市長公室広報広聴係

<出席者>

酒田市／市長、副市長

危機管理監、企画部長、地域創生部長、地域創生部交流推進調整監

酒田記者クラブ／各社

幹事社／河北新報、TUY（9月・10月）

コミュニティ新聞社（酒田記者クラブの承認による）

1 開 会

(1) 発表事項

- ① 令和元年度 酒田市の各表彰制度の受賞者が決定しました（市長公室）
- ② 令和元年度 酒田市新田産業奨励賞の被表彰者が決定しました（商工港湾課）
- ③ 黒森歌舞伎ポーランド公演実行委員会によるポーランド共和国での黒森歌舞伎公演について（社会教育文化課）

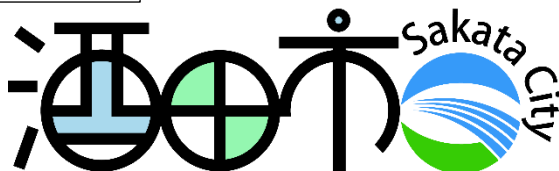
(2) 懇談・フリー質問 [幹事社]

(3) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

- ① 第8回酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催します（スポーツ振興課）



令和元年 10月7日

酒田記者クラブ加盟社 各位

令和元年度 酒田市の各表彰制度の受賞者が 決定しました

このたび、酒田市の各表彰制度における令和元年度の受賞者が決定しました。
つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○各表彰制度の概要、受賞者一覧、受賞者の功績等については、別紙資料のとおりとなります。

- | | | | |
|---|-------------|---|----|
| 1 | 各表彰制度の概要 | … | 1P |
| 2 | 各表彰制度の受賞者一覧 | … | 2P |
| 3 | 受賞者の功績内容 | … | 3P |

【顕彰式】

○日時／11月1日（金）午前10時～

○場所／ベルナール酒田

●お問い合わせ／

【功労表彰・市民表彰・顕彰式】

・市長公室 TEL 43-8321

【農業賞】

・農政課 TEL 26-5792

【庄内文化賞・阿部次郎文化賞】

・社会教育文化課 TEL 24-2982

酒田市の各表彰制度の概要

1 功労表彰 【 酒田市表彰条例 】

功労表彰は、広く公共の福祉、市勢の発展に尽くされ、功労が特に顕著であって市民の模範となるべき個人又は団体を表彰するものです。

具体的には、

- (1) 市の教育、学術、文化の興隆に功績極めて顕著であるもの
- (2) 市の保健、衛生、環境の改善及び社会福祉の向上等において功績極めて顕著であるもの
- (3) 市の産業の振興その他都市の建設等において功績極めて顕著であるもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市民の模範となるべき篤行者

2 市民表彰 【 酒田市民表彰規則 】

市民表彰は、市民生活の向上及び公共的活動に尽くされた方や市民の模範となる篤行者を表彰するものです。

具体的には、

- (1) 業務に精励し、市民生活の向上に寄与したもの
- (2) 公共的な活動に尽力され、その功労が顕著なもの
- (3) 前2号に掲げるもののほか、功労顕著なもの又は市民の模範となる篤行者

3 農業賞（旧酒田市伊藤農業賞）【 酒田市農業賞表彰規則 】

農業賞は、初代酒田農業協同組合長伊藤惣治郎氏のご遺志により、遺族から寄付された伊藤農業振興基金をもとに制定されたもので、農業振興に積極的に取り組み、今後の農業経営の指針として他の模範となる個人又は団体を表彰するものです。

4 庄内文化賞【 酒田市庄内文化賞に関する規則 】

庄内文化賞は、庄内地方に居住し、学術・美術・音楽・演劇・舞踊等の活動において、優れた成果を上げた個人又は団体を顕彰するものです。

5 阿部次郎文化賞【 酒田市阿部次郎文化賞に関する規則 】

阿部次郎文化賞は、阿部次郎の偉業を記念し、庄内地方の文化向上に寄与することを目的に、阿部次郎又は阿部次郎の哲学に関する研究、哲学、美学などの研究において、実績の顕著な個人又は団体を顕彰するものです。

令和元年度 各表彰制度の受賞者一覧

■功労表彰 2名

番号	氏名	住所	生年月日(年齢)	功績の内容
1	さとうしゅうぞう 佐藤修三	東京都武蔵野市西久保3丁目	昭和15年3月30日 (79歳)	産業振興・教育
2	たかはしよしお 高橋義夫	酒田市亀ヶ崎3丁目	昭和26年8月21日 (68歳)	保健・衛生

■市民表彰 5名

番号	氏名	住所	生年月日(年齢)	功績の内容
1	ただだしょうぞう (故) 武田正三	酒田市亀ヶ崎1丁目	昭和7年7月25日 (享年86歳)	社会福祉
2	しょうじふ ゆ こ 庄司富由子	酒田市亀ヶ崎3丁目	昭和15年1月2日 (79歳)	産業振興
3	かんばやしひでき 上林英樹	酒田市若竹町1丁目	昭和16年10月1日 (78歳)	産業振興
4	さわぐちよしかず 澤口與四一	酒田市飛島字勝浦	昭和21年6月20日 (73歳)	観光振興
5	ひょうどうまきこ 兵藤満喜子	酒田市麓字楯ノ腰	昭和27年2月26日 (67歳)	社会福祉

■農業賞 2名

番号	氏名	住所	生年月日(年齢)	功績の内容
1	かとうきよし 加藤清志	酒田市広野字上通	昭和24年1月27日 (70歳)	農業振興
2	こんの しげる 金野 茂	酒田市穂積字門田	昭和24年2月8日 (70歳)	農業振興

■庄内文化賞 1名

番号	氏名	住所	生年月日(年齢)	分野
1	いけだせいすい 池田青水 (富士男)	酒田市東泉町1丁目	昭和17年12月10日 (76歳)	古典芸能 (邦楽)

■阿部次郎文化賞 1名

番号	氏名	住所	生年月日(年齢)	分野
1	たけうち よう 竹内 洋	大阪府豊能郡豊能町光風台 4丁目	昭和17年1月8日 (77歳)	阿部次郎研究

※敬称略、年齢は令和元年11月1日現在

功勞表彰

さとう しゅうぞう
佐藤 修三 氏

79 歳／産業振興・教育／東京都武蔵野市



昭和 37 年に東海銀行に入行し、都内支店長、ニューヨーク支店長及び常務取締役本店営業部長等を歴任。現在は電通グループの株式会社 I S I D フェアネスの顧問をされ、豊富な知識と持ち前の鋭い感覚で本市と大手企業との橋渡しをはじめ、本市の産業振興のため、お力添えをいただいております。また、旧酒田商業高校東京同窓会「紫紺会」の会長時代は、首都圏に在住する多くの卒業生のつながり、絆を深める活動を精力的に行いました。

平成 19 年からは「酒田ビジネス大使」、平成 24 年からは「酒田ゆかりのビジネスパーソン」として、大手企業の人材の紹介及び多くの企業情報を提供していただき、本市の企業誘致活動に現在もご尽力をいただいております。

また庄内出身者の学生の宿舎として長年親しまれた「荘内館」の支援にも力を注がれ、平成 20 年からは、進学を目指す県内学生を支援する「財団法人やまがた育英会」の立上げや公益財団法人化に尽力され、現在は「公益財団法人やまがた育英会」の業務執行理事として、積極的に学生の地元回帰にも力を注がれております。

さらに、本年 11 月にポーランド共和国で公演される本市の「黒森歌舞伎」への財政的な支援についても、自らの人脈を生かし企業等へ奔走していただいております。

このように、ご自分が生まれ育った地域をこよなく愛し、酒田の地域経済の振興と発展に多大な貢献をされました。

平成 14 年 9 月～現在	㈱ I S I D フェアネス（電通グループ）顧問
平成 19 年 4 月～平成 24 年 3 月	酒田ビジネス大使
平成 24 年 4 月～平成 28 年 3 月	酒田ゆかりのビジネスパーソン
平成 23 年 4 月～現在	公益財団法人やまがた育英会業務執行理事
平成 28 年 9 月～現在	酒田市産業・交流都市創造会議委員

功勞表彰

たかはし よしお
高橋 義夫 氏

68 歳／保健・衛生／酒田市亀ヶ崎 3 丁目



昭和 60 年 4 月に旧松山町の高橋歯科医院に勤務され、地域歯科医療・保健衛生の普及活動に積極的に努められました。また、平成 27 年から令和元年までの 2 期 4 年間、酒田地区歯科医師会の会長として豊富な見識と卓越した医術を十分に発揮され、市民の歯科衛生思想の普及向上に貢献されました。

また、山形県歯科医師会においても監事、理事、代議員などの要職を務められ、本市はもとより県内の地域歯科医療並びに保健衛生の発展向上に大きく貢献されました。

この間、地域医療連携、在宅訪問歯科診療に力を注ぎ、講演会や講習会を開催し、医師会、薬剤師会、ケアマネージャーそして施設職員との連携や協力体制を強化しました。また酒田地区歯科医師会内に在宅歯科支援室を設置したことにより、在宅歯科診療の申し込みが年々増加しているのもその効果の一つであります。

特に、平成 28 年に施行された「酒田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の条例制定や平成 30 年の山形県・酒田市病院機構や酒田地区歯科医師会等の 9 法人からなる地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットの設立にあたっては、酒田地区歯科医師会長として尽力されました。

このように、市民生活向上のため、医療・保健衛生・環境改善などの分野で市政の発展に多大な貢献をされました。

平成 23 年 4 月～平成 27 年 5 月	酒田地区歯科医師会副会長
平成 27 年 5 月～令和元年 5 月	酒田地区歯科医師会会長
平成 25 年 6 月～令和元年 7 月	酒田飽海学校保健会副会長
平成 23 年 4 月～平成 31 年 3 月	山形県歯科医師会代議員

市民表彰

故 たけだしょうぞう 武田正三 氏

享年 86 歳 / 社会福祉 / 酒田市亀ヶ崎 1 丁目

平成 18 年から亀ヶ崎地区の老人クラブである亀寿会会長を 12 年間務められリーダーとして地域を支える様々な活動にご尽力をいただきました。また、平成 19 年からは酒田市老人クラブ連合会の亀ヶ崎地区代表理事、平成 23 年からは酒田市老人クラブ連合会酒田支部副支部長を、平成 25 年から酒田支部長、酒田市老人クラブ連合会長という重責を担われました。さらに庄内地区老人クラブ連絡協議会副会長も歴任されましたが、任期途中の平成 30 年 12 月にご逝去されました。

このように酒田市をはじめ、庄内地区の老人クラブの育成指導に力を尽くされ、社会福祉の向上に大きく貢献されました。



平成 18 年 4 月～平成 30 年 12 月	亀寿会会長
平成 25 年 4 月～平成 30 年 12 月	酒田市老人クラブ連合会酒田支部支部長
平成 25 年 4 月～平成 30 年 12 月	酒田市老人クラブ連合会会長

しょうじ ふゆこ 庄司 富由子 氏

79 歳 / 産業振興 / 酒田市亀ヶ崎 3 丁目

平成 23 年から庄内漏水調査株式会社の代表取締役に就任し、市内において公道漏水等の事故が発生した際には、夜間・休日を問わず現地確認を行い、緊急対応可能な工事店の調整や資材の手配などを迅速に行い、自らも復旧作業に率先して携わるなど、安心安全な水道を守り続け、市民生活を支えてこられました。

また、平成 7 年度から平成 18 年度まで酒田管工事協同組合の理事を務め、平成 8 年には「水道施設の災害に伴う応援協定」締結にご尽力いただいたほか、平成 9 年からは、全国に先駆けて実施した水質基準の強化に対する鉛製給水管の解消にも携わるなど、地域の発展及びまちづくりに大きく貢献されました。

更に、有限会社酒田水道設備の代表としても、長きに渡り、ライフラインである水道施設の工事において、確かな技術を発揮されました。



平成 23 年 4 月～現在	庄内漏水調査株式会社代表取締役
平成 15 年 4 月～平成 19 年 3 年	酒田管工事協同組合会計理事
平成 7 年 4 月～平成 15 年 3 月	酒田管工事協同組合理事

市民表彰

かんばやし ひでき
上林 英樹 氏

78 歳／産業振興／酒田市若竹町 1 丁目

昭和 43 年に日出輝無線サービスを創業して以来、51 年にわたり、電波障害によるテレビ受信の改善に向けて、その道一筋に貢献してこられました。

この間、希望ホールや小中学校のほか、民間施設も含め様々な施設でのテレビ共同受信施設の整備に携われており、東日本大震災においては、昼夜を問わず復旧対応にあたられました。

また、市民から電波障害に関する相談を受けた際は、各方面に対する交渉の協力や助言を行うなど、常に相談者に寄り添いながら対応されてこられました。テレビ共同受信施設が整備された後は、受信者側の管理組合の設立を提案し、規約や連絡体制の整備、各種相談や協力、指導まで、幅広くアドバイザーとして大変ご尽力されました。

テレビ視聴は現代の市民生活に欠かすことができないくらい生活に密着しており、市民生活の向上や地域の発展に大きく貢献されました。



昭和 43 年 4 月～昭和 57 年 1 月	日出輝無線サービス創業
昭和 57 年 2 月～現在	有限会社日出輝無線サービス設立 代表取締役

さわぐち よしかず
澤口 與四一 氏

73 歳／観光振興／酒田市飛島字勝浦

昭和 40 年に飛島の沢口旅館に就業、平成 30 年までの 53 年間にわたり、飛島観光産業の第一線で活躍されてきました。

この間、平成 8 年からは飛島遊漁船組合の組合長を務め、遊漁船の運航に関するルールづくりにご尽力されました。

また、平成 14 年から平成 30 年までの 16 年間、飛島観光協議会の会長を務め、海水浴場の運営や野鳥観察ポイント周辺へのトイレやベンチの整備など、観光客からの意見を取り入れた施設整備を実施し、誘客の促進を図られました。

さらには、鳥海山・飛島ジオパークの活動にも深い理解を示され、島民説明会や現地審査などにも協力されるなど、認定の際の大きな一助となりました。

一方、平成 23 年に設立されたとびしま未来協議会や、合同会社とびしまの設立運営にもご尽力され、飛島の活性化や若い移住者への支援などにも取り組んでこられ、飛島における観光産業を柱とした地域振興や若者の育成に大きく貢献されました。



昭和 56 年 4 月～平成 30 年 3 月	沢口旅館当主
平成 8 年 4 月～平成 17 年 3 月	飛島遊漁船組合長
平成 14 年 4 月～平成 30 年 3 月	飛島観光協議会会長
平成 23 年 5 月～平成 30 年 3 月	とびしま未来協議会役員

市民表彰

ひょうどう まきこ
兵藤 満喜子 氏

67 歳／社会福祉／酒田市麓字楯ノ腰



平成 7 年に八幡町民生委員・児童委員を委嘱、平成 17 年の市町村合併後は酒田市民生委員・児童委員を委嘱されて以来、現在まで 25 年の長きにわたり、常に住民に寄り添い、相談や支援を行うなど地域福祉の向上に努めてこられました。

この間、平成 19 年に八幡民生委員・児童委員協議会の副会長に就任、平成 29 年からは、八幡民生委員・児童委員協議会の会長に就任し、リーダーとして会員相互の連携が十分に取れる協議会運営に尽力されてこられました。

また、八幡支部の地区社会福祉協議会の事業に積極的に参加しており、特に一人暮らし老人への声かけ活動などへの参加により住民福祉の向上に貢献されております。

さらに、八幡地区の特別養護老人ホームを訪問し、ボランティア活動としてエレクトーン演奏を行うなど、長年の活動により、本市の社会福祉の向上に大きく貢献されました。

平成 7 年 12 月～平成 17 年 10 月	八幡町民生委員・児童委員
平成 17 年 11 月～現在	酒田市八幡民生委員・児童委員
平成 19 年 12 月～平成 29 年 11 月	酒田市八幡民生委員・児童委員協議会副会長
平成 29 年 12 月～現在	酒田市八幡民生委員・児童委員協議会会長

農業賞

かとう きよし 氏 加藤 清志 氏

70 歳／農業振興／酒田市広野字上通

平成 4 年から平成 17 年まで、広野地区穀類乾燥調製貯蔵施設（広野カントリーエレベーター）の初代利用組合長として施設運営に努められました。現在、庄内みどり農業協同組合管内の同施設全てにおいて採用されている「利用組合」による運営方式を先駆けて導入し、その礎を築かれました。

平成 17 年には、広野・浜中地区の転作田の作業受託組織として、有限会社「ごんべの会」を設立されました。農地集積による作業の効率化を図り、大豆生産のコスト低減と均質化を実現し、当該地域での転作大豆を組み入れた栽培体系の確立に寄与されております。

自身の営農活動のためだけでなく、地域農業とともに成長発展しようと農業に精励するその姿勢は、他の模範となるものです。



平成 4 年 3 月～平成 17 年 8 月	広野地区穀類乾燥調製貯蔵施設利用組合組合長
平成 17 年 5 月～	有限会社ごんべの会代表取締役

こんの しげる 氏 金野 茂 氏

70 歳／農業振興／酒田市穂積字門田

平成 9 年から平成 18 年まで、西荒瀬地区穀類乾燥調製貯蔵施設（西荒瀬カントリーエレベーター）の初代利用組合長として、施設の安定運営と利用拡大に努められました。

また、同時期に籾殻の有効活用と田畑の土づくりを目的に設立された西荒瀬高品質堆肥製造施設（西荒瀬堆肥センター）の初代組合長を務めたほか、西荒瀬高性能機械体系確立協議会会長として、同地区の生産体制強化のため、機械化による営農形態の確立に尽力されました。

平成 17 年からは、庄内みどり農業協同組合理事、西荒瀬地区農業振興協議会会長を務められ、地域農業のリーダーとして力を発揮されております。

地域農業の生産振興に大きく貢献するとともに、指導的地位にあつて、農業の振興発展に尽くされた功績は顕著です。



平成 9 年 7 月～平成 18 年 6 月	西荒瀬地区穀類乾燥調製貯蔵施設利用組合組合長
平成 9 年 7 月～平成 18 年 6 月	西荒瀬高品質堆肥製造施設利用組合組合長
平成 9 年 7 月～平成 18 年 6 月	西荒瀬高性能機械体系確立協議会会長
平成 17 年 6 月～	庄内みどり農業協同組合理事
平成 17 年 6 月～	西荒瀬地区農業振興協議会会長

庄内文化賞

いけだ せいすい ふじお
池田 青水 (富士男)

76 歳 / 古典芸能 (邦楽) / 酒田市東泉町 1 丁目

昭和 36 年から故・荒井藍水門下として薩摩琵琶を学び、昭和 39 年に横浜の中谷襄水より奥伝、平成 16 年に錦心流琵琶全国一水会より最高位である相伝を許されました。以後は会の副会長ならびに酒田支部顧問として市内のみならず全国各地で演奏者として精力的に活躍される傍ら、市内をはじめとする庄内地区、山形市、仙台市、仁賀保市など 6 箇所教室で琵琶楽の伝授と育成に尽力されています。

池田氏は、50 年以上の長きにわたり、日々研鑽を積みながら、琵琶を中心とした古典芸能の普及・宣伝活動に携わり、庄内の文化芸術振興に大きく貢献されました。



阿部次郎文化賞

たけうち よう
竹内 洋 氏

77 歳 / 阿部次郎研究 / 大阪府豊能町光風台 4 丁目

教育社会学・歴史社会学を専攻され、現在は関西大学名誉教授、関西大学東京センター長、京都大学名誉教授を務めながら、社会学者として活躍されています。

著書『教養派知識人の運命』において、阿部次郎を教育社会学からのアプローチで研究され、阿部次郎の人生やその時代と人物に焦点をあてながら、阿部次郎が唱えた教養主義の本質について纏められました。

また、阿部次郎の偉大な功績とともに、一人の人間としての阿部次郎についても調査し考察されています。

新たな視点から阿部次郎を研究され、広く多くの人に伝えられた功績は顕著なものがあります。



令和元年 10 月 7 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

令和元年度酒田市新田産業奨励賞の 被表彰者が決定しました

このたび、令和元年度酒田市新田産業奨励賞の被表彰者が下記 2 企業に決定しました。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

酒田市新田産業奨励賞

酒田市新田産業奨励賞は、株式会社平田牧場及び株式会社平牧工房からの寄付金を基に設置した新田産業振興基金を活用して、産業振興に貢献し、他の模範となる個人、団体又は企業を表彰するものです。

【令和元年度被表彰者】

有限会社阿部彌太郎商店（代表取締役 あべ やたろう 阿部 彌太郎）

畳縁を使用した小物雑貨を製作・販売することにより、新たな販路を開拓するなど、本市の産業振興に貢献しています。

有限会社安藤煙火店（代表取締役 あんどう しゅういち 安藤 周一）

現在は県内唯一の花火製造業者であり、県内外の花火大会への参加実績を年々増やし、本市の観光産業へも寄与しています。

◆詳しくは、別紙を参照してください。

【授賞式】

○日時／11月15日（金）午前11時～

○場所／ガーデンパレスみずほ（みずほ二丁目）

【記念講演会（予定）】

○日時／同日午後3時10分～4時50分

○場所／公益ホール

○内容／〔一部〕寺島実郎氏（（一財）日本総合研究所会長・東北公益文科大学客員教授）による講演

〔二部〕寺島実郎氏と佐高信氏（評論家・東北公益文科大学客員教授）の対談

●お問い合わせ／

商工港湾課企業立地・産業振興係 佐々木里紗

TEL 26-5361 FAX 22-3910

酒田市新田産業奨励賞被表彰者の決定について

酒田市地域創生部商工港湾課

被表彰者等の功績内容

- (1) 有限会社阿部彌太郎商店 代表取締役 阿部 彌太郎氏
酒田市一番町12-18

明治19年に初代阿部彌太郎氏が荒物雑貨店として個人創業し、三代目の時に豊材の卸売りに特化して、現在の業態となりました。平成30年に現在の代表が四代目を襲名しました。

平成25年より豊縁を利用した名刺入れやバックなどの小物雑貨を製作し、販売しています。豊縁は製造工程上、余分な部分は廃棄していましたが、その豊縁を有効利用した商品の開発に取り組んでいます。市内観光物産施設や都内店舗で販売するだけでなく、本市のふるさと納税の返礼品に採用されました。豊縁を利用した小物雑貨は多くの好評を得ています。

近年は豊業界の規模が縮小傾向にありながらも、他地域からも商品に関する問い合わせや注文がある豊縁を用いた事業は、時流を掴み、また独自の強みを活かしたものであり、他の模範となるものです。



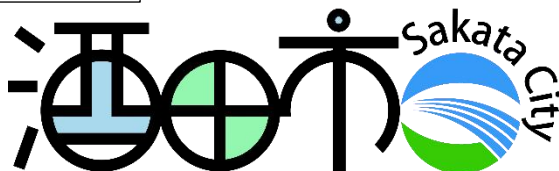
- (2) 有限会社安藤煙火店 代表取締役 安藤 周一氏
酒田市栄町3-25

大正5年に創業し、花火の製造や打ち上げを行っていましたが、第二次世界大戦時からは花火の製造を中止し、打ち上げのみを行っていました。平成18年に製造工場を本市中野俣地内に新設し、花火の製造を再開しました。現在は県内唯一の花火製造業者です。

酒田花火ショーで打ち上げられる花火の約6割を製造しており、県内外の花火大会への参加は40件以上と、年々参加実績を増やしています。外航クルーズ船が酒田港を出発するときにも製造した花火の打ち上げが行われ、見送りに華を添えました。花火大会以外の場面でも、当該企業の花火は多くの人々を魅了しています。

本市の知名度向上へ貢献している県外の花火大会での活躍は、他の模範となるものであり、競技会等への積極的な参加による技術の向上は本市の観光産業の振興へも寄与しているものです。





令和元年 10 月 7 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

黒森歌舞伎ポーランド公演実行委員会による ポーランド共和国での黒森歌舞伎公演について

このたび、黒森歌舞伎ポーランド公演実行委員会がポーランド共和国にて黒森歌舞伎公演を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

- 日本とポーランドとの国交樹立 100 周年を迎える令和元年 11 月に、黒森歌舞伎がポーランド共和国ワルシャワ市とクラクフ市で公演します。演目は「義経千本桜 伏見稻荷鳥居前の場」です。
- 黒森歌舞伎の海外公演は初めてです。またポーランド共和国での歌舞伎の上演も初めてです。
- 黒森歌舞伎の公演だけでなく、勘亭流書家によるワルシャワ大学でのワークショップ、黒森歌舞伎押絵倶楽部によるワルシャワ市民とのワークショップ、ワルシャワ市アジア・太平洋博物館での歌舞伎体験ワークショップ、黒森小学校とワルシャワ市ベドナルスカ小学校との海を越えた傘福共同制作などを実施し、日本文化の紹介と共に、ポーランド共和国の方々との文化交流も行います。

◆黒森歌舞伎ポーランド公演実行委員会／黒森歌舞伎ポーランド公演を実施するために平成 30 年 1 月に設立された任意団体。黒森歌舞伎妻堂連中、黒森歌舞伎保存会、黒森コミュニティ振興会、酒田市、山形県で構成される。実行委員長は黒森歌舞伎妻堂連中座長 富樫久一氏。事務局は市社会教育文化課。

◆ポーランドでの公演の詳細については、別紙資料の通りです。

●お問い合わせ／社会教育文化課

文化財係 川島崇史

TEL 24-2994、FAX 23-2257

Eメール bunkazai@city.sakata.lg.jp

資料

黒森歌舞伎ポーランド公演概要

■スケジュール

令和元年	11月2日	黒森出発
	11月3日	ワルシャワ市 演劇大学にてリハーサル
	11月4日	ワルシャワ市 ワルシャワ大学にて勘亭流ワークショップ ワルシャワ市 ベドナルスカ小学校での傘福制作 ワルシャワ市 演劇大学にて公演
	11月5日	クラクフ市 マンガ博物館にてリハーサル
	11月6日	クラクフ市 マンガ博物館にて公演
	11月7日	ワルシャワ市 在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて押絵ワークショップ ワルシャワ市 アジア・太平洋博物館にて歌舞伎のワークショップ
	11月8日	ワルシャワ出発
	11月9日	帰国・黒森到着

◆このスケジュールの他にも丸山市長の川田日本国大使、ワルシャワ市、クラクフ市への表敬訪問が予定されている。

■参加予定者 黒森歌舞伎関係者36名、丸山市長、本間教育次長、社会教育文化課職員3名の計41名

■開催場所の概要

○ワルシャワ市 演劇大学

1811年にワルシャワ市に開学した、演劇の俳優・監督の養成機関。近年は日本やアメリカ等の学校と相互交流を行ない、他国の演劇文化を教育に取り入れている。

○クラクフ市 マンガ博物館

1994年に開館したポーランドで唯一日本文化を紹介している国立の機関。博物館の基本的な役割と日本・極東の文化を広く紹介する文化の拠点。日本舞踊や能などが過去に上演されている。

○ワルシャワ市 ベドナルスカ小学校

今回の公演を招聘したアダム・ミツキェヴィチ大学アシスタントプロフェッサーであるイガ・ルトコフスカ氏の娘さんが通っている小学校。

○ワルシャワ市 ワルシャワ大学

1816年に開設された大学でポーランドの最高学府。作曲家ショパンを輩出している。

18学部を有する総合大学で日本語学科が設置されており、イガ・ルトコフスカ氏の母校でもある。

○ワルシャワ市 在ポーランド日本国大使館広報文化センター

日本関連行事の開催や日本に関する書籍の閲覧や、本・CD・DVDの貸し出しなどを行いながら日本の文化をポーランド国内へ発信している機関。

○ワルシャワ市 アジア・太平洋博物館

外交官であり、東洋アートのポーランド人コレクターから寄贈された資料を展示しながら、日本を含めアジア・太平洋の文化を広く紹介している。